

## 第2回枝幸町地域公共交通活性化協議会 議事録

### ●開催概要

日 時 平成31年3月27日（火） 15:30～16:30  
場 所 中央コミュニティセンター 1階 コミュニティホール  
出席者 別紙のとおり

### ●議事内容

#### 1. 開会

#### 2. 会長あいさつ

【今井会長】

委員の皆様におかれましては、年度末の開催になりまして、大変お忙しい中、ご出席して頂きまして誠にありがとうございます。

2月中旬から暖気が続き一気に春めいたものの、3月に入ってから雪の日が続きました、4月を目前にしてもまだ雪が多く残っている状況であります。このような中、ご出席くださった委員の皆様、特に町外からおいでくださった委員やオブザーバーの皆様に重ねてお礼を申し上げます。

さて、昨年12月18日に第1回の協議会を開催させていただいてから3ヶ月が経過し、当初予定しておりましたスケジュールより少し遅れての第2回目の開催となっております。地域公共交通網形成計画は、地域にとって望ましい公共交通の姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たすものでございます。第1回の協議会で、申しあげました当町の人口などの地域特性の把握、住民アンケート調査結果の分析、地域公共交通の課題整理などを踏まえた上でこの度、枝幸町地域公共交通網形成計画の素案を取りまとめ、皆様のお手元にお示しすることができました。本日の会議では、事務局並びに計画策定支援業者から素案の説明を行った後に、委員の皆様から奇譚のないご意見を積極的に賜りまして、計画の策定を進めていきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

#### 3. 議事

協議第1号 枝幸町地域公共交通網形成計画（素案）について

・事務局より説明

**【旭川運輸支局 相田委員】**

昨年12月に、枝幸町地域公共交通活性化協議会が設置されまして、公共交通網形成計画など持続可能な公共交通の体系の確立を目指して、議論されているということで国としてこういった施策を推進している立場として、改めて枝幸町の取組みに敬意を表しますとともに、大いに期待しているところでございます。

今回、網形成計画素案ということで中身を拝見させていただいて、素案という段階ですが、他の協議会のなかで委員の方から出た話の中で、人材不足という部分でバスのみならず、タクシーの方の人材不足も非常に厳しい状況であるという意見がありました。今後の施策の中で、デマンドタクシーというような案がありますが、乗務員がいなければ移動手段としてのプランを策定しても運行できないといった問題が出てくると思いますので、そういった部分も含めて議論されればよろしいのかなと思います。

また、持続可能な公共交通体系を確保するという意味で、移動手段を確保する上で、国としては安全の確保を最重要と考えております。既存の公共交通事業者であるバス、タクシー事業者の活用を是非考えて頂きたいと思います。

**【枝幸町商工会 田部委員】**

町の補助金額について平成27年からえさし号に対して補助金が出ていますが、利用者が増えているという認識であったのですが、なぜ補助金が出ているのでしょうか。

施策メニューの中で、雄武線から内陸部をデマンドタクシーということで、移動手段を確保するということですが、例えば音標までは枝幸市街地から30分以上で、それから内陸部に行くというのは最低でも約40分はかかります。そこまで行ってから利用者に乗せて音標の市街地まで10分位で出てきて、それからタクシーは戻って行きます。最終的に全部で1時間以上かかってしまうと思いますが、その費用は誰が払うのですか。

**【事務局（枝幸町）】**

えさし号の補助ですが、えさし号は旭川行きと札幌行きの2路線となっております。札幌行きの便については、黒字ですので補助金を出しておりません。旭川行きの便については赤字ですので、赤字の2/3の部分について町から補助金を出している形です。

内陸部の雄武線、音標方面について、今回は方向性ということで空白になっている所の洗い出しをして、空白地域を補完するような交通体系を実現するために、こういった案が考えられるという整理ですので、実現の場合の具体的なメニューについては次回までに、どのような運用体系かを検討していきますので、なにか良い案があればご提示していただきたいと思います。

【中美委員】

札幌行きのえさし号やなよろ号を利用しますが、名寄から札幌までと枝幸から名寄までの料金の比率が違うような気がします。

【宗谷バス 成田所長】

クルマを利用するかバスを利用するかで感覚が異なりますので、運賃の感覚もお客様個人の考え方だと思います。

【浜頓別道路事務所 佐々木委員】

宗谷バスさんにお聞きしたいのですが、浜頓別に住んでいまして、札幌に会議がある場合に朝一に浜頓別から乗って、音威子府乗り換えで札幌まで行くのですが、朝一に乗るとお昼くらいに札幌に到着し、会議に出ることができます。しかし、帰りの便は札幌発が次の日の11:30になってしまう。これが、お昼の13:00くらいの出発になると会議に出て、会議に出て午後に帰るといった事ができます。午後から札幌へ行き、用事を済ませて帰ってくるといったこともできるのではないかと思うのですが、この運行時間になにか理由はあるのでしょうか。

【宗谷バス 成田所長】

運行が始まった当初は、札幌発が16時15分で運行していたのですが、枝幸に到着するのが21時30分くらいでした。冬期間の通行止めや、吹雪による障害があり、到着時間が深夜になることが多かったので、安全性や運転手の疲労、お客様の疲労などを考慮し、枝幸にできるだけ早い時間に到着するように設定しています。日帰りするお客さんを調査した所、ほとんどいなかったということもあります。通行止めになると2、3時間遅れてしまうので、深夜の時間帯になってしまうことも考慮し、午前の運行にしています。

協議第2号 地域公共交通網形成計画策定スケジュールについて

・事務局より説明

#### 4. その他

・事務局より説明

【歌登ハイヤー 田邊谷委員】

小鳩交通さんのハイヤー事業について1番問題になっているのは、過疎になり人口が減少している中で、運行している運転手は雇用し続ける必要があります。それを皆さん忘れていて、予算を削られて維持しなさいというのは無理だと思います。

行政の方も分かってもらわないと、乗務員は働いていけないし、会社を維持していきなさいです。そういうことを考えて欲しいです。福利厚生がかかっていることを皆さんは忘れていてと思います。

#### 5. 閉会